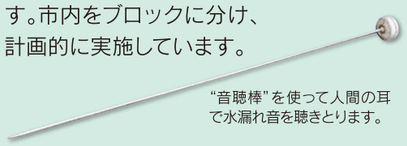
いち早く漏水を発見するために

お問い合わせ　水道維持課：TEL 06-6858-2971

戸別音聴調査

宅地内に設置されている水道メーターや止水栓に“音聴棒”と呼ばれる器具を当て、水漏れ音が発生しているかを確認します。市内をブロックに分け、計画的に実施しています。

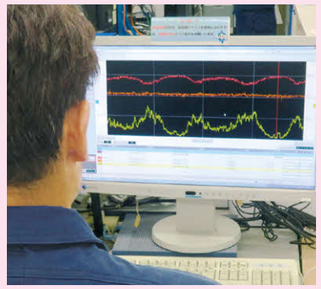


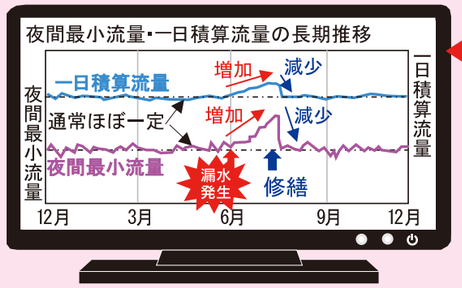


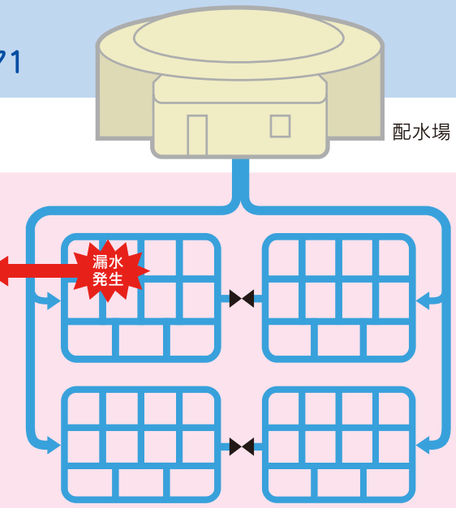
※戸別音聴調査・路面音聴調査では、ヘッドホン等を耳と密着させるため、基本的にヘルメットをかぶっていません。

配水ブロックの流量監視

市内を44の区域に分けて水の流れを管理する“配水ブロック”の整備を進めています。各配水ブロックの流入地点に流量計を配置し、水の使用量が少ない夜間帯の流量や、一日の積算流量を毎日監視することで、漏水がないかを判断しています。







ブロックごとに1か所から配水することで、漏水を発見しやすくする仕組みをすすめています。

路面音聴調査

漏水探知器のセンサーを道路の路面やバルブに当てて音を機械的に増幅させ、地中にある水道管からの水漏れ音を聞き取ります。



漏水探知器



多点相関調査

漏水が発生していると疑われる管路の2か所（バルブや消火栓など）に相関センサーを置き、それぞれのセンサーに水漏れ音が到達する“時間差”を分析して、正確な漏水位置を特定します。





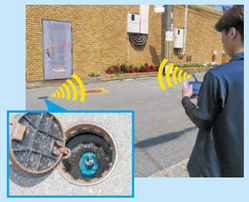
水漏れ音を解析し波形として表示

管路音圧監視

鉄道や幅の広い道路を横断する管路のバルブや消火栓に音圧センサーを設置。内部の音や音圧を定期的に計測することで、漏水の有無を判断します。



受信機と音圧センサー



漏水発見！ ～修繕まで一貫して行う

水量の監視
配水ブロックの流量監視、管路音圧監視を継続して行い、異常があれば、現地で漏水調査を行います。

→

漏水調査
異常のあった場所で、戸別音聴調査、多点相関調査などを行い、おおよその漏水箇所を特定します。

↓

漏水位置の特定
さらに路面音聴調査などの詳しい調査を行い、正確な漏水位置や水道管の材質、漏水量などの予測を立てます。

←

漏水修繕
実際に地面を掘り、水道管の破損状況に合わせて修繕作業を行います。また、予測と実際の作業を比較し、検証します。

↑

一連の作業を同じ課の職員が継続して担当することで、技術継承の取り組みをしています。





水道管の破損状況



修繕後

